

## 岡山短期大学幼児教育学科

### 教育職員免許法施行規則

(昭和二十九年十月二十七日文部省令第二十六号)

第二十二條の六 認定課程を有する大学は、次に掲げる教員の養成の状況についての情報を公表するものとする。

一 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。

岡山短期大学の建学の精神「教育三綱領」は、

自律創生：道徳心を備えた実践的な行動力を修得する。

信念貫徹：目標を達成する継続的な学びと努力を実践する。

共存共栄：社会人の基礎力を修得し進んで世界の平和に貢献する。

であり、教育理念は、学生一人一人が強い信念をもち、それぞれが志した学習目標を達成し、本学で修得した知識、技能および資格を活かした進路を確実に得、本学および社会の発展に寄与する人材を育てることである。そしてそのために、本学は高等教育に相応しい学習環境を整備し、社会の様々な進展に対応する教育を、常に充実したカリキュラムでもって行うことを使命とする。

#### 本学科の教員養成の教育目標

- ① 21世紀を生きる幼児たちが、日本国民であるとともに「地球市民」であるよう教育指導するに相応しい資質能力のある幼稚園教員を養成する。
- ② 外国語によるコミュニケーション能力やコンピュータの活用能力をもった国際化、情報化の社会に相応しい幼稚園教員を養成する。
- ③ 幼児教育者としての使命感、幼児の成長および発達についての精深な理解、幼児に対する教育的愛情、教科などに関する専門的知識、広く豊かな教養、そしてこれを基礎とした実践的指導力のある幼稚園教員を養成する。
- ④ 幼児の発達段階に鑑みて、家庭教育と幼稚園教育の連携を十分に図ることができる資質能力のある幼稚園教員を養成する。

#### 学生の学習成果

本学で学ぶ学生の卒業時の学習成果は、建学の精神「教育三綱領」の基に、自律した信念のある社会人となることである。

学科の専門学習では、現場に即応する幼稚園教諭になるため、学科の教育課程（一般教育科目および専門教育科目）の学習をとおして、次の学習成果を獲得する。

##### I. 専門的学習成果

幼稚園教諭として、幼児に信頼される教育環境をつくることができ、幼児の主体的な活動と幼児期にふさわしい生活の展開を促進し、調和のとれた心身を発達させるための遊びと一人ひとりの特性と発達の課題に即する指導ができる能力を育成する。

## Ⅱ. 汎用的学習成果

社会人として求められる態度、信念、意見、価値、コミュニケーション能力を獲得する。

社会人としての責任を果たすために必要な倫理観や価値観、自己管理の能力を、また職業生活や社会生活に必要な情報リテラシーや数量的スキル、人との関わりに必要な論理的思考、自己表現、他者理解、問題解決の能力を獲得する。

### 学位授与の方針&卒業認定

学位：短期大学士（幼児教育学）

現場に即応する幼稚園教諭になるため、学科の教育課程（一般教育科目および専門教育科目）の学習を通して科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。

卒業認定の際に獲得していることを求める学習成果は次のとおりである。

現場に即応できる幼稚園教諭に求められる専門的学習成果と社会人・職業人として求められる汎用的学習成果を獲得している。

### 教育課程編成・実施の方針

#### 専門教育科目の編成と実施

幼稚園教諭二種免許状取得に必要なカリキュラムを編成する。

授業は、専門的学習成果のみではなく汎用的学習成果をも獲得できるように実施する。

#### 一般教育科目の編成と実施

社会生活を送る上で必要な汎用的学習成果を獲得する科目を編成し、実施する。

### 入学者受け入れの方針

本学に入学する人物には、次のような資質・能力を求める。

- ・自分のなりたい保育者像が明確である。
- ・子どもが好きで、心身ともに健康で、何事にも積極的である。
- ・幼稚園教諭免許を取得し、卒業後保育者として就業する。
- ・本学での学習に必要な一定水準の学力を身に付けている。
- ・体育や図画工作、音楽が好きで、特にピアノについては、基礎技能を身に付けようと努力できる。

二 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する事。

教科に関する科目

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目				専任教員				兼任教員	
		授業科目	単位数		共通開設		教授	准教授	講師		助教
			必修	選択	学校種等	学科等					
幼二種免	国語	国語	2					大賀恵子			
	算数										
	生活	生活と科学		2				鈴木久子			
	音楽	音楽 I (A)		1			白神厚子				
		音楽 I (B)		1			(白神厚子)				
		音楽 I (C)	1				(白神厚子)				
		音楽 I (D)	1				(白神厚子)				
		音楽 II (A)	1							大羽敬子 (非)	
		音楽 II (B)		1						大羽敬子 (非)	
	図画工作	図画工作 (図画A)	1						関野智子		
		図画工作 (工作A)	1						(関野智子)		
		図画工作 (図画B)		1					(関野智子)		
		図画工作 (工作B)		1					(関野智子)		
	体育	体育 (A)	1							西谷正光 (非)	
体育 (B)		1							西谷正光 (非)		
●単位数			4 単位			●専任教員数 (計) 4 人			●必要専任教員数 4 人		

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目			担当教員 (非):非常勤
			授業科目	単位数		
学科	科目	単位数		必修	選択	
幼二種免	日本国憲法	2	日本国憲法		2	近 勝彦 (非)
	体育	2	体育実技		1	西谷正光 (非) (藤井真理)
			体育理論		1	
	外国語コミュニケーション	2	英語 (A)		1	教授 濱田佐保子 (濱田佐保子)
英語 (B)				1		
情報機器の操作	2	情報処理基礎		2	准教授 張秉煥 (張秉煥) (張秉煥) (張秉煥)	
		情報処理演習		1		
		文書処理演習 (A)		1		
		文書処理演習 (B)		1		

教職に関する科目

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	単位数		教職課程専任教員				その他の専任教員 非常勤 兼任教員	
	科目	各科目に含める必要事項		単位数	必修	選択	教授	准教授	講師		助教
幼二種免	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教師論	2				(都田修兵)			
			教育原理	2				都田修兵			
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育心理学		2		井頭久子				
			発達心理学 I	2	2					講師 大賀恵子	
			教育制度論	2				(都田修兵)			
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・保育内容の指導法 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育課程総論	2							福野裕美（兼任）
			健康（保育内容）	2			(藤井真理)				教授 尾崎 聡 講師 鈴木久子
			人間関係（保育内容）	2							
			環境（保育内容）	2							
			言葉（保育内容）	2				浦上博文			
表現 I（A）（保育内容）			1				藤井真理				
表現 I（B）（保育内容）			1				(藤井真理)				
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	保育相談の基礎	2			(井頭久子)				講師 関野智子 (関野智子)	
教育実習	5	事前・事後指導 幼稚園教育実習	1 4					(都田修兵) (都田修兵)			
教職実践演習	2	教職実践演習（幼稚園）	2			(浦上博文) (井頭久子)		(都田修兵)		(鈴木久子)	

●単位数  
・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 33 単位  
・教員の免許状取得のための選択科目 4 単位

●専任教員数（計） 4 人  
●必要専任教員数 4 人

各教員が有する学位及び業績

教員名	浦上博文	学位	教育学修士	職名	教授
担当科目	国語、言葉（保育内容）、教職実践演習、卒業予備研究（B）、卒業研究（A）（B）				
専攻分野	国語				
最終学歴	昭和 58 年 3 月	岡山大学大学院教育学研究科修士課程（国語教育専攻）修了			
これまでの主な経歴	昭和 52 年 4 月	岡山県倉敷市立工業高等学校常勤講師（国語科担当）（昭和 53 年 3 月まで）			
	昭和 53 年 4 月	広島県私立福山暁の星女子中学・高等学校教諭（国語科担当）（昭和 56 年 3 月まで）			
	昭和 56 年 4 月	広島県私立福山暁の星女子中学・高等学校非常勤講師（国語科担当）（昭和 57 年 3 月まで）			
	昭和 57 年 4 月	広島県私立福山暁の星女子中学・高等学校教諭（国語科担当）（平成 16 年 3 月まで）			
	平成 8 年 4 月	広島県私立福山暁の星女子中学・高等学校国語科主任（平成 16 年 3 月まで）			
	平成 13 年 4 月	広島県私立福山暁の星女子中学・高等学校教務部副部長（平成 16 年 3 月まで）			
	平成 16 年 4 月	岡山短期大学幼児教育学科専任助教授（平成 19 年 3 月まで）			
	平成 16 年 4 月	岡山学院大学人間生活学部非常勤講師（現在に至る）			
これまでの主な研究業績	平成 19 年 4 月	岡山短期大学幼児教育学科専任教授（現在に至る）			
	平成 24 年 4 月	岡山短期大学幼児教育学科主任教授（平成 28 年 3 月まで）			
これまでの主な研究業績	（著書）				
	1. 教師のための表現分析の手引				
	2. 文章を作る過程の指導 （学術論文）				
	1. 説明の文章を作る言語行為の指導に関する研究①高等学校 2 年生の場合				
	2. 説明の文章を作る言語行為の指導に関する研究②高等学校 2 年生の場合				
	3. 文章の作成過程を指導する教材 昭和 37 年版・47 年版・56 年版中学校教科書 教材の比較				
	4. 作文指導における教材の拡充 中学校 2 年生、意見文作成の場合に即して				
	5. 「文章の作成過程」と「言語表現の基礎」とを重視した指導第 2 学年の場合				
	6. 「持込み詞」による連文表現の基礎指導高等学校 2 年生の場合				
	7. 「説明、記録・報告の文章」の「文章構成の型」に関する調査 昭和 5 9 年版中学校教科書教材における				
	8. 「読書案内」作成の指導				
	9. 「評論・論説の文章」の「文章構成の型」に関する調査 昭和 5 9 年版中学校教科書教材における				
	10. 説明の文章を作成する指導				
	11. 文章構成の型を指導するための教材開発				
	12. 中学生の国語表現力に関する研究 文表現における問題点				
	13. 芥川龍之介「羅生門」の教材認識と基準授業案				
	14. 説明の文章を作る行為の指導				
15. コンピュータを用いた読書指導 「読書案内」作成の実践					
16. 考えるよう追い込む「発問」の条件 対立する発問によって思考力を育てる					
17. 説明的な文章の教材認識 中学 2 年「文化というもの」（木村尚三郎）の場合					

	<p>18. 中島敦「山月記」 「のだ」に着目して李徴の内面を読む</p> <p>19. 漢字の習得力を鍛える 計画的・持続的・意欲的</p> <p>20. 文章構成の「型」を重視した論説文作成の指導 四段型文章の場合</p> <p>21. 梶井基次郎「檸檬」の教材認識</p> <p>22. 連携によって情報を創り出す</p> <p>23. 小学校作文教材の変遷 光村図書発行昭和36年版・55年版国語教科書の場合</p> <p>24. 初等・中等教育における作文教材の変遷 昭和37年版・47年版・56年版中学校国語教科書の場合</p> <p>25. 初等・中等教育における作文教材の変遷 表現過程を指導する方法（昭和30年代～50年代）</p> <p>26. 保育者養成課程における国語表現指導 話し言葉（2分間スピーチ）の場合</p> <p>27. 保育者養成課程における国語表現指導 連絡帳の書き方を指導するための教材開発</p> <p>28. 「保育所保育指針」及び「幼稚園教育要領」に関する漢字調査 保育者養成課程における漢字指導の改善を目指して</p> <p>29. 短期大学生の誤字（平仮名）に関する調査</p> <p>30. 小論文添削指導の事例 接続助詞「し」が出現した文の場合</p> <p>31. 小論文添削指導の事例 接続助詞「たり」が出現した文の場合</p> <p>32. 保育者養成における「言葉遊び」指導力の育成</p> <p>33. 幼稚園教育要領における領域「言葉」の変遷—平成元年第2次改訂から29年第5次改訂まで—</p>
学会及び社会 における活動 等	<p>中国四国教育学会 表現学会 岡山国語談話会 岡山大学国語研究会</p>

教員名	白神厚子	学位	学士	職名	教授
-----	------	----	----	----	----

担当科目	音楽 I				
専攻分野	音楽				
最終学歴	昭和49年3月	相愛女子大学 音楽学部 器楽学科 ピアノ専攻 首席卒業			
これまでの主 な経歴	昭和49年4月	岡山女子短期大学	幼児教育学科	非常勤講師	(器楽担当)
	昭和53年4月	岡山女子短期大学	幼児教育学科	専任講師	(器楽担当)
	昭和54年4月	中国短期大学	音楽科	非常勤講師	(ピアノ専攻担 当)
	昭和56年3月	中国短期大学	音楽科	非常勤講師	(ピアノ専攻担 当)
	昭和61年4月	(昭和60年4月まで)			
	平成5年4月	岡山女子短期大学	幼児教育学科	助教授	(音楽 I 担当)
	平成15年4月	岡山女子短期大学	幼児教育学科	教授	(音楽 I 担当)
	平成21年3月	岡山短期大学	幼児教育学科	主任教授	
これまでの主 な研究業績	平成21年4月	岡山短期大学	退職		
		岡山短期大学	特別専任教授	(現在に至る)	
	(教育実践記録等)				
	1. 保育者志望学生のためのピアノ指導(1)—岡山短期大学幼児教育学科における「音楽 I (A)」の授業を中心として—				
	2. 保育者志望学生のためのピアノ指導(2)—岡山短期大学幼児教育学科における「音				

	<p>楽 I (B)」の授業を中心として—</p> <p>3. 保育者志望学生のためのピアノ指導 (3) —岡山短期大学幼児教育学科における「音楽 I (C)」の授業を中心として—</p> <p>4. 保育者志望学生のためのピアノ指導 (4) —岡山短期大学幼児教育学科における「音楽 I (D)」の授業を中心として—</p> <p>(その他)</p> <p>1. 相愛女子大学卒業演奏会出演</p> <p>2. なにわ芸術新人演奏会出演</p> <p>3. NHK オーディション合格</p> <p>4. 岡山県新人演奏会出演</p> <p>5. 岡山女子短期大学ピアノ開きコンサート出演</p> <p>6. 岡山女子短期大学教員演奏会出演</p> <p>7. 岡山女子短期大学教員演奏会出演</p> <p>8. 岡山女子短期大学教員演奏会出演</p> <p>9. 岡山女子短期大学教員演奏会出演</p> <p>10. 玉島ライオンズクラブ第 30 周年記念演奏会 「曾我厚子と倉敷管弦楽団」</p> <p>11. 相愛大学オーケストラ演奏会 指揮 尾高忠明 ピアノ 曾我厚子</p> <p>12. 岡山女子短期大学教員演奏会</p> <p>13. 岡山女子短期大学「人間形成と実践」にて発表</p> <p>14. 開学 40 周年記念式典</p> <p>15. 岡山女子短期大学幼児教育学科研究発表会特別出演</p> <p>16. 岡山女子短期大学教員演奏会</p> <p>17. 岡山女子短期大学教員演奏会</p> <p>18. 岡山女子短期大学教員演奏会</p> <p>19. 岡山短期大学教員演奏会</p> <p>20. 岡山短期大学教員演奏会</p> <p>21. 岡山短期大学教員演奏会</p> <p>22. 岡山短期大学教員演奏会</p>
学会及び社会における活動等	<p>相愛女子大学卒業演奏会出演</p> <p>大阪府なにわ芸術祭新人演奏会出演</p> <p>岡山県新人演奏会出演</p> <p>玉島ライオンズクラブ第 30 回記念コンサート 曾我厚子と倉敷管弦楽演奏会出演</p> <p>尾高忠明指揮 相愛大学待機演奏会 (岡山県) 出演</p> <p>倉敷市青少年問題協議会委員 (現在に至る)</p>

教員名	井頭久子	学位	博士 (臨床教育学) 修士 (教育学)	職名	教授
-----	------	----	------------------------	----	----

担当科目	教育心理学、発達心理学Ⅱ・Ⅲ、保育相談支援、教職実践演習、保育相談の基礎 卒業予備研究 (B)、卒業研究 (A) (B)	
専攻分野	臨床教育学	
最終学歴	平成 17 年 3 月 平成 21 年 3 月	岡山大学大学院教育学研究科 修士課程学校教育臨床専攻修了 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科 博士課程修了
これまでの主な経歴	昭和 50 年 4 月 昭和 56 年 4 月 昭和 63 年 4 月 平成 8 年 4 月 平成 14 年 4 月 平成 21 年 4 月 平成 23 年 4 月 平成 24 年 4 月 平成 28 年 4 月	倉敷市立連島西浦小学校教諭 (昭和 56 年 3 月まで) 倉敷市立長尾小学校教諭 (昭和 63 年 3 月まで) 倉敷市立玉島小学校教諭 (平成 8 年 3 月まで) 倉敷市立玉島南小学校教諭 (平成 14 年 3 月まで) 倉敷市立柏島小学校教諭 (平成 21 年 3 月まで) 岡山短期大学幼児教育学科 特別専任講師 (家族援助論) 岡山短期大学幼児教育学科 特別専任准教授 岡山短期大学幼児教育学科 特別専任教授 (現在に至る) 岡山短期大学幼児教育学科 主任教授 (平成 29 年 3 月まで)
これまでの主	(著書)	

な研究業績	1. 「総合単元的な道徳学習」 2. 「現代のエスプリ」…ロールレタリング特集号 (学術論文) 1. 「ロールレタリングによる母親の子育て支援」(査読有) 2. 「自我の統合に向かうライフストーリーの研究」(査読有) 博士学位論文 3. 「高齢者の自我の統合を支援する臨床教育学的研究」(査読有) 4. 幼児教育専攻の学生における実習後の振り返りに注目してーエピソード記述を通してー 5. ロールプレイを効果的に導入した保護者支援の方法ー保護者と保育者の関係性を重視してー
学会及び社会 における活動 等	ロールレタリング学会「研究奨励賞」を受賞 (H19.8) 臨床発達心理士として研修会に参加した。 日本臨床教育学会、日本ロールレタリング学会、武庫川臨床教育学会

教員名	尾崎 聡	学位	文学修士	職名	教授
-----	------	----	------	----	----

担当科目	人間関係 (保育内容)、ライフステージと生活課題、青少年問題と社会、保育実習指導 I II、児童文化 倫理学、卒業予備研究 (B)、卒業研究 (A) (B)				
専攻分野	哲学				
最終学歴	昭和 61 年 3 月	岡山大学大学院文学研究科修士課程哲学専攻修了			
これまでの主な経歴	昭和 62 年 11 月 平成元年 4 月 平成 8 年 4 月  平成 12 年 4 月 平成 13 年 4 月 平成 13 年 4 月 平成 14 年 4 月  平成 18 年 4 月 平成 19 年 4 月  平成 24 年 4 月 平成 29 年 4 月	岡山女子短期大学非常勤講師 (平成元年 3 月まで) 岡山女子短期大学講師 (平成 8 年 3 月まで) 岡山女子短期大学 (平成 12 年 4 月岡山短期大学に校名変更) 助教授 (平成 14 年 3 月まで) 島根県立大学非常勤講師 (民俗文化論 担当) (現在に至る) 川崎医療短期大学非常勤講師 (文化人類学 担当) (現在に至る) 倉敷芸術科学大学非常勤講師 (生活と文化 担当) (平成 16 年 3 月まで) 岡山学院大学人間生活学部生活情報コミュニケーション学科 (平成 16 年 4 月人間情報学科に名称変更) 助教授 (平成 18 年 3 月まで) 岡山学院大学人間生活学部人間情報学科教授 (平成 19 年 3 月まで) 岡山学院大学キャリア実践学部キャリア実践学科教授 (平成 24 年 3 月まで) 岡山短期大学幼児教育学科教授 (現在に至る) 岡山短期大学幼児教育学科 主任教授 (現在に至る)			
これまでの主な研究業績	(著書) 1. 『建部町史 民俗編』 2. 『美作の護法祭』 3. 『上齋原村史 民俗編』 4. 『牛窓町史 民俗編』 5. 『長船町史 民俗編』 6. 『祭礼行事 第 3 6 巻 岡山県』 7. 『倉敷市史 8 (自然・風土・民俗)』 8. 『金光町史 民俗編』 9. 『井原市史・民俗編』 10. 『金光町史 本編』 11. 『奥津町の民俗』 12. 『井原市史第 1 巻通史編』 13. 『岡山県の会陽の習俗』 14. 岡山県の歴史シリーズ 図説倉敷・総社の歴史 15. 年中行事大辞典				



	<p>16. 「Made in KOJIMA」第1章「児島の歴史」 (学術論文) 民俗学・人文科学方法論関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. デイルタイの精神科学における「意味(Sinn)」「意義(Bedeutung)」のカテゴリーの成立</li> <li>2. デイルタイの精神科学方法論―「理解」概念の発展―</li> <li>3. 人生設計の学の体系構築に向けて―報告その① ライフヒストリーについて―</li> <li>4. デイルタイ解釈学の内的成立過程</li> <li>5. 岡山城石垣の構築諸年代</li> <li>6. 日本倫理における神と仏―神仏習合における日本的人間関係―</li> <li>7. 写真で見る岡山の民俗「シシ垣と防塁」(付)高屋城付近の鳥瞰図</li> <li>8. 戦乱の世をいかに戦ったか(付)匠ヶ城縄張り図</li> <li>9. 「岡山の中世石塔の特色と民俗学的諸問題」―小米石・豊島石の異形石塔、和泉砂岩の一石五輪、花崗岩の畿内式石塔をめぐって―</li> <li>10. 「現代倫理の諸問題と倫理学講義(古典倫理から現代倫理へ)」その①比較歴史民族学的視点から生命倫理を考察する</li> <li>11. 「現代倫理の諸問題と倫理学講義 その②」映像人類学的考察の試み: ミッシェル・フーコー『狂気の歴史』『監獄の誕生』の世界をフランシス・コッポラ版『ドラキュラ』(原作 B・ストーカー)に見出す</li> <li>12. 「歴史的・民俗的景観図作成の試み」―中国山地最奥部の谷筋に見る中世的生活の痕跡(苫田ダム水没地区調査から)―(付)苫田ダム水没地区歴史的・民俗的景観図</li> <li>13. 古石塔の立つ光景(古墓地、家系伝承、先祖顕彰)～歴史的民俗的景観図作成の試み その②～</li> <li>14. 「土居」考～歴史的・民俗的景観図作成の試み その③～</li> <li>15. 備中高松合戦前哨戦における秀吉の陣城「鍛冶屋山城」―伝承と軍記録と遺構―</li> <li>16. 「城山」について～歴史的・民俗的景観図作成の試み その④～</li> <li>17. 城郭研究及び軍記研究から見た備中忍山城合戦と合戦場の諸城 ―(附)忍山城に相對する陣城「信倉城」の縄張り下書き(光畑克己氏遺作)</li> <li>18. 土居の景観(土居の伝承と地中から出現した土居)～歴史的・民俗的景観図作成の試み その⑤～</li> </ol> <p>岡山学院大学・岡山短期大学紀要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>19. 井原市の中世山城</li> <li>20. 尼子勢力掃討戦における毛利氏の城郭に関する一考察～備中高屋城(岡山県井原市)および高屋城合戦(永禄12年)を例に～</li> <li>21. 備中井原の土居について一言説と実在性―(～歴史的・民俗的景観図作成の試み その⑥～)</li> <li>22. 「歴史的・民俗的景観を記述することの人間存在論的意義について、苫田ダム水没地区を事例に)～歴史的・民俗的景観図作成の試み その⑦～」</li> <li>23. 地域アイデンティティ創出と伝説的世界の時空間～北条早雲の里の景観～(歴史的・民俗的景観図作成報告 その①)</li> <li>24. 新『幼稚園教育要領』における領域「人間関係」その①～対象について(改訂の歴史から)</li> <li>25. 新『幼稚園教育要領』における領域「人間関係」その②指導法について(遊びの場面の言葉がけ等から)</li> </ol>
<p>学会及び社会 における活動 等</p>	<p>岡山大学哲学・倫理学会会員(現在に至る) 岡山民俗学会会員(現在に至る) 同学会理事(平成16年4月～現在に至る)、同学会誌編集委員(平成9年4月～現在に至る) 日本宗教民俗学会会員(現在に至る) 岡山大学日本思想史研究会会員(現在に至る) 日本幼少児童健康教育学会会員(現在に至る) 倉敷市市民講座において講師として奉仕活動 岡山民俗学会理事(現在に至る) 倉敷市立天城幼稚園学校評議員(現在に至る) 倉敷市文化財保護審議会委員(現在に至る)</p>

倉敷市文化財保護審議会会長（現在に至る）
----------------------

教員名	濱田佐保子	学位	文学修士	職名	教授
-----	-------	----	------	----	----

担当科目	英語(A)(B)、保育実習指導Ⅰ、教養演習、卒業予備研究(B)、卒業研究(A)(B)	
専攻分野	英語	
最終学歴	昭和55年3月	京都女子大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了
これまでの主な経歴	昭和55年4月 昭和56年4月 昭和59年4月 昭和61年7月 昭和62年10月  平成2年4月  平成2年10月 平成4年8月  平成8年4月  平成8年8月  平成13年4月  平成13年9月  平成14年4月  平成25年4月	光華高等学校非常勤講師（英語）（昭和58年3月まで） 追手門学院大学非常勤講師（英語）（平成2年3月まで） 京都女子大学非常勤講師（英語）（平成14年3月まで） 朝日カルチャーセンター（京都）講師（英会話）（平成2年3月まで） 大阪市立大学非常勤講師（英語）（平成2年4月～平成3年3月を除く。平成6年3月まで） 聖隷学園聖泉短期大学専任講師（リーディング、英文法、英検英語、英米文学研究、米文学史、教科法英語、LL演習、海外研修、英語基礎セミナー、英語専門セミナー） （平成8年3月まで）（平成4年4月聖泉短期大学に名称変更） 京都大学非常勤講師（英語）（平成14年3月まで） 大学設置審議会の教員組織審査京都女子大学家政学部生活造形学科非常勤講師（英語） 聖泉短期大学助教授（リーディング、LL演習、海外研修、英語基礎セミナー、英語専門セミナー、メディア研究、英語、Reading/Writing, Test Taking Method, Structure） （平成13年3月まで） 大学設置審議会の教員組織審査聖泉短期大学介護福祉学科兼担、助教授（英語） 聖泉短期大学特別任用教育職員助教授（Reading/Writing, Business English, Test Taking Method, 英語専門セミナー）（平成14年3月まで） 大学設置・学校法人審議会の教員資格審査岡山学院大学人間生活学部生活情報コミュニケーション学科教授（英語コミュニケーション演習 Reading/Writing、卒業研究） 岡山学院大学教授（英語コミュニケーション演習 Reading/Writing、英語コミュニケーション演習 Listening/Speaking、卒業研究、英語Ⅰ～Ⅵ、比較文化論）（平成25年3月まで） 岡山短期大学幼児教育学科 教授
これまでの主な研究業績	(著書) 1. Selected Poems of Emily Dickinson 2. 『ことば・意味・かたち』 3. Dynamic Reading 4. 『新・アメリカ研究入門』 5. Words to the World 6. An Emily Dickinson Encyclopedia 7. Different Countries, Different Ways 8. Controversial Issues: Write Your Opinion at Your Risk 9. Cyber English: The Computer is Mightier than the Sword 10. 『未来へのヴィジョン——英米文学の視点から——』 11. 『Summer Breeze～ハワイの風～：観光英語教本』 13. 『文学とサイエンス——英米文学の視点から——』 14. 『エミリー・ディキンソンの詩の世界』 15. 『文学と戦争・英米文学の視点から』 16. 『私の好きなエミリー・ディキンソンの詩』	

	<p>17. 『超自然 英米文学の視点から』</p> <p>(学術論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. “Legal Imagery in Emily Dickinson’s Poems” 査読付</li> <li>2. “Significance of Emily Dickinson’s Fascicles: Her view of death and immortality in fascicles 1-8” 査読付</li> <li>3. “A Vast Expanse at Sunset: Emily Dickinson’s Poems” 査読付</li> <li>4. “Time in Dickinson’s Poems: Her Strategies for Approaching Eternity” 査読付</li> <li>5. “Emily Dickinson’s circle Imagery: Searching for Heaven” 査読付</li> <li>6. “Emily Dickinson’s ‘Conscious Ears’ ” 査読付</li> <li>7. “So slight a film—A Commentary on Emily Dickinson’s Poetics” 査読付き</li> <li>8. “Emily Dickinson’s Bee Imagery:—Dream and Reality 査読付き</li> </ol>
学会及び社会における活動等	<p>日本英文学会会員 (昭和55年4月から)</p> <p>日本アメリカ文学会会員 (昭和55年4月から)</p> <p>日本エミリー・ディキンソン学会会員 (昭和55年4月から)</p> <p>(昭和62年4月～平成12年5月: 運営委員) (平成12年6月～現在: 理事) (平成12年6月～平成14年5月: 事務局長) (平成14年6月～平成20年5月: 会計) (平成23年6月～現在: 会計監査) (平成29年6月～現在: 副会長)</p> <p>人文学会会員 (平成2年4月入会、平成6年3月脱退、平成19年4月再入会)</p> <p>大学英語教育学会会員 (平成2年4月から)</p> <p>(平成3年4月～平成6年3月: 関西支部会計監査)</p> <p>(平成7年4月～平成14年3月: 関西支部研究企画委員)</p> <p>(平成16年9月～平成19年9月: 中国・四国支部授業学研究委員会委員)</p> <p>エミリー・ディキンソン国際学会 (平成17年4月から Emily Dickinson International Society) 会員</p>

教員名	藤井真理	学位	教育学修士	職名	教授
-----	------	----	-------	----	----

担当科目	表現 I (A) (B) (保育内容)、健康 (保育内容)、卒業予備研究 (B)、卒業研究 (A) (B)	
専攻分野	体育学	
最終学歴	昭和62年3月	岡山大学大学院教育学研究科保健体育専攻修士課程修了
これまでの主な経歴	<p>昭和59年4月</p> <p>昭和62年4月</p> <p>昭和62年4月</p> <p>昭和63年4月</p> <p>平成 元年4月</p> <p>平成 2年4月</p> <p>平成 5年4月</p> <p>平成 5年4月</p> <p>平成 5年10月</p> <p>平成 9年4月</p> <p>平成 9年4月</p> <p>平成 9年4月</p> <p>平成13年4月</p> <p>平成17年4月</p>	<p>岡山県立矢掛高等学校非常勤講師 (昭和60年3月まで)</p> <p>広島市立安佐北高等学校非常勤講師 (昭和63年3月まで)</p> <p>広島文教女子大学非常勤講師 (体育実技) (平成元年3月まで)</p> <p>広島修道大学非常勤講師 (体育実技) (平成元年3月まで)</p> <p>高松短期大学児童教育学科助手 (音楽リズム・ダンス・保健体育講義・体育実技・レクリエーション実技・レクリエーション講義・野外活動) (平成2年3月まで)</p> <p>高松短期大学児童教育学科講師 (音楽リズム・ダンス・保健体育講義・体育実技・レクリエーション実技・レクリエーション講義・野外活動) (平成5年3月まで)</p> <p>中国短期大学非常勤講師 (体育実技・保健体育講義・運動生理学) (平成13年9月まで)</p> <p>岡山大学非常勤講師 (体育実技・保健体育講義) (平成13年3月まで)</p> <p>倉敷市立短期大学非常勤講師 (保健体育講義・保健体育実技) (平成6年3月まで)</p> <p>岡山女子短期大学 (平成12年4月岡山短期大学に名称変更) 非常勤講師 (平成13年3月まで)</p> <p>就実女子大学非常勤講師 (体育実技) (平成13年3月まで)</p> <p>吉備国際大学非常勤講師 (運動心理学) (平成13年9月まで)</p> <p>岡山短期大学講師 (平成17年3月まで)</p> <p>岡山短期大学助教授 (表現 I (保育内容)・健康(保育内容)・体育理</p>

	平成 19 年 4 月 平成 28 年 4 月	論・総合演習・教養演習・卒業予備研究・卒業研究) (現在に至る) 准教授に職位変更 教授に職位変更
これまでの主な研究業績	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼少年期の健康づくりー指導者用マニュアルー</li> <li>2. パパ・ママあそぼうよーちビッコの運動あそびー</li> <li>3. 体力をはぐくむちビッコのあそび HAND BOOK (1)</li> <li>4. 体力をはぐくむちビッコのあそび HAND BOOK (2)</li> <li>5. 体力をはぐくむちビッコのあそび HAND BOOK (3)</li> <li>6. 体力をはぐくむちビッコのあそび HAND BOOK (4)</li> <li>7. 健康</li> <li>8. みんなあつまれ運動あそび</li> <li>9. 健康〈保育〉Health</li> <li>10. 保育と表現</li> <li>11. 保育内容「表現」楽しい劇あそび〜脚本集〜</li> </ol> <p>(学術論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 舞踊作品の理解過程に関する一考察ー鑑賞者が作品を理解していく過程の分析ー</li> <li>2. 運動開始前の微調整の研究 (Ⅲ)ー一致タイミング課題の見越指標の検討ー</li> <li>3. 運動開始前の微調整の研究 (Ⅳ)ー I P と微調整測度との関係</li> <li>4. 伝達情報量からみた舞踊作品の理解過程に関する研究</li> <li>5. スポーツ選手の強化を妨げている要因ー反応準備の出力パターンからみたエリート選手の適性ー</li> <li>6. 分節化された舞踊作品に対する文脈の意味</li> <li>7. 「間」の階層性「守ー破ー離」のパワースペクトル解析</li> <li>8. 電鍵反応のパワースペクトル分析による「間」の階層性の検討</li> <li>9. 舞踊作品の理解度に影響する思考過程の分析</li> <li>10. パワースペクトルの傾きによる演舞の学習レベルの評価</li> <li>11. ピアノ熟練者の両手のリズム反応の能力</li> <li>12. 大学生女子の喫煙に対する態度ー岡山大学 1 年生についてー</li> <li>13. 大学生女子の喫煙に関する研究ー岡山県内 A 短期大学についてー</li> </ol>	
学会及び社会における活動等	<p>舞踊学会 (創作舞踊) 会員 日本小児健康教育学会 (保育者養成・身体表現・あそび・音楽リズム) 会員 比較舞踊学会 (身体表現・幼児ダンス) 会員 日本幼児体育学会 (幼児体育・身体表現・幼児ダンス・あそび・音楽リズム) 会員 日本食育学術会議 (健康・保育内容) 会員</p>	

教員名	張 秉煥	学位	経済学博士	職名	准教授
-----	------	----	-------	----	-----

担当科目	情報処理基礎、情報処理演習、教養演習、キャリアガイダンス、文書処理演習 (A) (B) 卒業予備研究 (B)、卒業研究 (A) (B)	
専攻分野	経済学	
最終学歴	平成 9 年 8 月	韓国・国立慶北大学大学院経済学研究科博士課程修了
これまでの主な経歴	1985 年 4 月 1986 年 1 月  1995 年 9 月 1998 年 9 月 1999 年 3 月 2000 年 4 月  2001 年 4 月 2001 年 8 月	<p>韓国産業経済研究院 研究員 (1985 年 12 月まで)</p> <p>韓国通信大手・D A C O M 総合研究所 責任研究員 (部長) (1998 年 8 月まで)</p> <p>東京大学社会情報研究所 客員研究員 (研究留学、1997 年 8 月まで)</p> <p>国立研究所・韓国電子通信研究院 招聘研究員 (2000 年 3 月まで)</p> <p>国立大田産業大学・経済学部 兼任教授 (2000 年 2 月まで)</p> <p>島根県立大学北東アジア地域研究センター 研究助手 (2001 年 3 月まで)</p> <p>岡山短期大学生生活情報学科 助教授 (2002 年 3 月まで)</p> <p>大学設置・学校法人審議会教員審査 (岡山学院大学 助教授)</p>

	2002年4月 2005年4月  2007年4月 2013年4月	岡山学院大学人間生活学部 助教授 総合開発機構・北東アジアブランドデザイン研究委員（2006年3月まで） 岡山学院大学キャリア実践学部 准教授（2013年3月まで） 岡山短期大学幼児教育学科 准教授（現在に至る）
これまでの主な研究業績	<p>（著書）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 韓国電子・IT産業のダイナミズム：グローバルな産業連携とサムスンの世界戦略</li> <li>2. 北東アジアの新時代：グローバル時代の地域システムの構築</li> <li>3. 東アジアのグローバル化と地域統合（新・東アジア経済論 III）</li> <li>4. 21世紀北東アジア世界の展望：グローバル時代の社会経済システムの構築</li> <li>5. 新・東アジア経済論</li> <li>6. 21世紀北東アジアの地域発展</li> <li>7. Intangibles in Competition and Cooperation: Euro-Asian Perspective</li> <li>8. 北東アジア地域研究序説</li> <li>9. 情報経済社会の基礎理論 I：情報経済系</li> <li>10. Business Information Technology Management: Closing the International Divide（学術論文）</li> </ol> <p>（学術論文）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報技術融合型健康医療サービス産業に関する経済分析</li> <li>2. 韓国電子企業の欧州市場戦略の特性と事例分析</li> <li>3. 北東アジアにおけるIT産業のクラスター化と知識回廊</li> <li>4. 電子・IT産業の成長とグローバル市場戦略：韓国経済とサムスン電子を中心に</li> <li>5. 東アジアのIT産業におけるネットワーク生産モードとグローバル連携：フラグメンテーション現象を中心に</li> <li>6. ユビキタス・ネットワーク環境におけるジオデシクモデルの再考</li> <li>7. デジタル経済における競争および価格メカニズムの変容</li> <li>8. デジタル経済における情報技術投資の社会経済的要因</li> <li>9. 情報技術への投資と情報資本の経済的効果</li> <li>10. 情報経済への移行と情報資本形成の社会経済的意義</li> </ol>	
学会及び社会における活動等	情報文化学会 国際ビジネス研究学会	

教員名	鈴木久子	学位	修士（学校教育学）、 修士（教育学）、 博士（学術）	職名	講師
-----	------	----	----------------------------------	----	----

担当科目	生活と科学、環境（保育内容）、臨床心理学(A)、卒業研究(A) (B)、教職実践演習（幼稚園）、社会心理学、卒業予備研究（B）	
専攻分野	応用健康科学、環境生理学、臨床心理学、教科教育学、教育心理学	
最終学歴	平成9年3月  平成18年3月  平成26年3月	兵庫教育大学大学院学校教育研究科教科・領域専攻健康・生活コース修了 岡山大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻臨床心理学コース（夜間大学）修了 ノートルダム清心女子大学人間生活学研究科人間複合科学（精神機能論）専攻博士後期課程
これまでの主な経歴	昭和47年4月～ 昭和50年4月～  昭和51年4月～ 昭和52年4月～ 昭和59年4月～ 平成3年4月～	東京都杉並区大宮中学校養護教諭（至昭50.3） 岡山市立東畦小学校，玉野市立東見中学校，岡山市立福浜小学校養護助教諭 岡山県新見市立正田小学校養護教諭（至昭50.3） 岡山市立富山小学校教諭（至昭59.3） 岡山市立福浜小学校教諭（至平3.3） 岡山市立岡南小学校教諭（至平9.3）

	<p>平成 9 年 4 月～ 平成 16 年 4 月～</p> <p>平成 19 年 4 月～ 平成 23 年 4 月～ 平成 24 年 9 月～ 平成 28 年 4 月～</p>	<p>(平 5. 4～平 7. 3 岡山市教育委員会学校教育部学校保健課における保健指導嘱託)(兵庫教育大学 内地留学; 平 7. 4～平 9. 3) 岡山市立西大寺南小学校教諭 (至平 16. 3) 岡山市立平井小学校教諭(至平 19. 3) (岡山大学 相談研修; 平 18. 4～平 21. 3) 岡山市立豊小学校教諭(至平 23. 3) スクールカウンセラー (～現在に至る) 児童養護施設新天地 心理療法担当職員 (～至平 28. 12) 岡山短期大学特別専任講師 (～現在に至る)</p>
これまでの主な研究業績	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>『性教育の手引き』(教育課程生徒指導資料第 97 集)</li> <li>『性健康教育』第 2 号</li> <li>『児童心理』第 54 巻 第 4 号「生き生きした子・疲れている子」</li> <li>スクールカウンセリングの実践技術 No3 『いじめ指導の手引き』</li> <li>『子ども日本語学習支援ガイドブック』</li> <li>『すっきり体操を始めませんか』</li> </ol> <p>(学術論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「小学校での性教育実践事例—生命尊重を中心として—」</li> <li>「運動のイメージ能力を高める方法の開発」(査読付)</li> <li>「多動児の変容に関する研究」(査読付)</li> <li>「ストレス軽減プログラムの開発とその有効性に関する研究」(査読付)</li> <li>「強迫性障害の子どもに悩む母親との面接」(査読付)</li> <li>「小学生に適用した集団自律訓練法の皮膚表面温度とストレス軽減に及ぼす効果」(査読付)</li> <li>「自律訓練法の効果を促進する『イメージ遊び』の影響」(査読付)</li> <li>「児童における集団自律訓練法習得とストレス反応」(査読付)</li> <li>「小学生のストレス軽減と「自己肯定」育成に関する研究」(査読付)</li> <li>「小学校における生活指導目標とストレス反応」(査読付)</li> <li>「イメージ力がサツマイモの栽培学習に及ぼす影響」(査読付)</li> <li>「幼少連係における生活科の役割」</li> <li>「幼児における科学的思考力の育成」</li> <li>「障害児保育における教授法の検討」</li> </ol> <p>(教育方法の実践例)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「生活科」、「総合的な学習」学習指導方法</li> <li>「生活科」総合的な学習」指導教員</li> </ol> <p>学級担任、学年主任として「生活科」を 6 年間、「総合的な学習」を 10 年間、実際の指導に関わり、生活科の教育目標に共通する保育所保育方針および幼稚園教育要領における「環境」の教育的のねらいに即した具体的な実践を次の内容で行ってきた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ活動・・・季節を感じる遊び(春—草花摘み、大袋で風と遊ぶ。夏—洗濯渦巻き、色水遊び。秋—木の実や葉っぱ見つけ、落ち葉で焼き芋。冬—影おくり、春の芽さがし。)、昔遊び、地域の高齢者福祉施設の訪問など。</li> <li>身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする活動・・・ウサギと遊ぶ、サケの卵やチェリップ・ミニトマトを育てるなど。</li> <li>身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする活動・・・砂遊び、積み木やボール遊び、絵本づくり(幼児への読み聞かせ)、廃材利用のおもちゃづくりなど。気付きが得られ自己肯定感の向上につながるよう実践してきた。理科学習においても担任や専科として関わり、ザリガニ、ヤゴ、モンシロチョウ、ヒメダカなどを飼育し自然との関わりを体験させてきた。</li> </ol>	
学会及び社会における活動等	<p>日本自律訓練学会 日本心理臨床学会 日本教育カウンセリング学会(平成27年4月より学会理事～現在に至る)</p>	

	日本教育催眠学会
--	----------

教員名	大賀恵子	学位	修士（教育学） 特別支援学校教諭二種 免許状	職名	講師
-----	------	----	------------------------------	----	----

担当科目	国語、社会教育演習（教育相談演習）、保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ、発達心理学Ⅰ、相談援助、卒業研究(A)、卒業予備研究(B)、卒業研究(B)				
専攻分野	教育心理学（自律訓練法）、教育学、発達心理学				
最終学歴	平成20年3月 平成24年3月	岡山大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻修了 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科博士課程後期満期退学			
これまでの主な経歴	昭和61年5月 昭和61年8月 昭和62年10月 昭和63年4月 平成28年4月	倉敷翠松高等学校常勤講師国語（～S61.7） 倉敷高等学校常勤講師国語（S62.8） 倉敷市立多津美中学校常勤講師 数学（～S63.3） 倉敷高等学校教諭 国語（数学）（～H28.3） 岡山短期大学講師			
これまでの主な研究業績	（著書） 1. 「Kotsu2くんのダイヤモンド」 （学術論文等） 1. 「自律訓練法の指導回数の違いが学級集団に及ぼす影響」 2. 「自律訓練法の指導回数の違いが学級集団に及ぼす影響」 3. 「高等学校における攻撃性に及ぼす自律訓練法の効果と実践の必要性」 4. 乳幼児の遊びに対する援助が保育者の資質に及ぼす影響－「こどもといっしょに運動会」を通して 6. 発達段階に応じた教育プログラムの開発と効果に及ぼす影響－教育心理学の領域から－ 7. 発達障害における早期発見と保育者の支援に関する一考察－事例と課題－				
学会及び社会における活動等	日本自律訓練学会 日本自律訓練学会 第14回池見研究奨励賞 表彰式平成27年10月11日 （論文名「高等学校における攻撃性に及ぼす自律訓練法の効果と実践の必要性」） 日本教育心理学会 日本ロールレタリング学会 日本教育カウンセリング学会 日本交流分析学会 日本ストレス学会 日本ストレスマネジメント学会 日本臨床動作学会				

教員名	関野智子	学位	修士（教育学）	職名	講師
-----	------	----	---------	----	----

担当科目	表現Ⅱ（A）（B）（保育内容）、図画工作（図画A B）、図画工作（工作A B）、卒業予備研究(A)（B）、卒業研究(A)（B）				
専攻分野	美術教育				
最終学歴	平成8年3月	岡山大学大学院教育学研究科美術教育専攻修了			
これまでの主な経歴	平成8年4月 平成9年4月 平成10年4月 平成13年4月 平成13年9月	倉敷市立短期大学服飾美術学科非常勤実習助手（～平成9年3月） 笠岡市立新吉中学校常勤講師（～平成10年3月） 倉敷市立西中学校教諭（～平成13年3月） 金光学園中学校・高等学校非常勤講師（～平成20年3月） 山陽新聞カルチャープラザ天満屋教室土曜絵画教室講師（～平成20年12月）			

	平成 16 年 4 月 平成 17 年 4 月 平成 20 年 4 月 平成 20 年 9 月 平成 22 年 7 月 平成 23 年 1 月 平成 24 年 4 月 平成 25 年 7 月 平成 26 年 4 月 平成 28 年 4 月 平成 29 年 4 月	倉敷市立短期大学服飾美術学科非常勤講師(～平成 17 年 3 月) 岡山大学教育学部附属中学校非常勤講師(～平成 18 年 3 月) 川崎医科大学附属高等学校非常勤講師(～平成 21 年 3 月) 岡山短期大学幼児教育学科非常勤講師(～平成 22 年 3 月) 関野美術教室講師(～平成 26 年 3 月) 山陽新聞カルチャープラザ西大寺教室講師 勝央美術文学館「ちるどれんずあーとぶろぐらむ」講師 竜王保育園絵画講師 岡山県立総社南高等学校非常勤講師(エキスパート) 岡山県立高梁城南高等学校デザイン科非常勤講師 岡山短期大学特別専任講師(現在に至る)
これまでの主な研究業績	学術論文 1. 文化的環境としての学校(修士論文) 2. 学びの連続性に着目した保育園での造形活動について―「ひと」に着目をした実践を通して― 3. 地域と共に育てるワークショップ―寒河コミュニティ協議会とのとりくみ― 1980 年代における学校施設の文化的環境づくりについて―1%システムの行方― 作品発表 ①二人 a ②列車待ち ③夜が来る ④桜の丘で II ⑤YAKU ⑥次へ ⑦言葉を探して ⑧満ちる朝 ⑨朝に夕に―大地 ⑩零に立つ ⑪空を読む ⑫花絨毯の午後 ⑬新風 ⑭夏の室内 ⑮潮風に ⑯遠くに波音 ⑰森の子・春 ⑱暮れゆく	
学会及び社会における活動等	岡山県美術家協会 岡山県美術家協会設立から 10 年間 事務局・理事として協会の組織づくり、会報作成、教育普及活動の企画・立案、HP づくりに携わる。 AMOKA プロジェクト 西粟倉村にある「天岡(あもか)公園」をものづくりや美術の楽しさを発信する基地として再生するプロジェクトに事務局として携わる。 ちるどれんずあーとぶろぐらむと 勝央美術文学館での 4 歳児～小学校 2 年生までを対象としたワークショップの講師をつとめる。 天狗山登山・竹炭作り体験会 寒河コミュニティ推進協議会主催で年に 1 度開催される、地域の材(牡蠣殻・竹炭)を用いた工作ワークショップで講師をつとめる。 新見美術館親子ワークショップ「絵の中に入ってみよう」「おもいでを描こう」 「新見市制施行 10 周年・美術館開館 25 周年テレビせとうち開局 30 周年北海道立近代美術館・札幌芸術の森美術館コレクションによるエコール・ド・パリ～パリに咲いた異邦人の夢～」付帯事業としての子ども対象のワークショップで講師をつとめる。 アムス岡山店一日教室講師 アムス岡山店での一日教室の講師を年に 1 回つとめる。 総社芸術祭 2019 参加企画美術展 2019 年の芸術祭参加に向けて、美術展の企画に携わっている。	



教員名	都田修兵	学位	修士（教育学）	職名	講師
-----	------	----	---------	----	----

担当科目	保育者論、教育原理、教育制度論、保育原理Ⅱ事前事後、卒業研究(A) 保育原理Ⅰ、教師論、教職実践演習（幼稚園）、卒業予備研究（B）、卒業研究（B） 事前・事後、特別活動（教職）				
専攻分野	教育学				
最終学歴	平成 27 年 3 月	岡山大学大学院教育学研究科学校教育学専攻（修士課程）修了			
これまでの主な経歴	平成 27 年 5 月	国立大学法人広島大学非常勤職員 広島大学大学院教育学研究科 ティーチング・アシスタント（TA）（平成 28 年 2 月まで）			
	平成 27 年 9 月	広島県立三次看護専門学校非常勤講師（「論理的思考」を担当）（平成 28 年 3 月まで）			
	平成 28 年 4 月	国立大学法人広島大学非常勤職員 広島大学大学院教育学研究科 クオリファイド・ティーチング・アシスタント（QTA）（平成 29 年 2 月まで）			
	平成 28 年 10 月	広島県立三次看護専門学校非常勤講師（「教育学」を担当）（平成 29 年 1 月まで）			
	平成 29 年 4 月	岡山短期大学幼児教育学科助教			
	平成 30 年 4 月	岡山短期大学幼児教育学科講師			
これまでの主な研究業績	（学術論文等） 1. A Study of Acceptance of Emerson's Thought in Japan: Focusing on Tokoku Kitamura's Emerson 2. R. W. エマソンの神秘主義思想とその教育的意義 3. エマソンの超越主義的教育思想における神秘主義の意味 4. エマソンの超越主義的教育思想のもつ宗教的特質 5. R. W. エマソンの初期教育思想に関する研究—牧師の二重性と教育的空間の二重性に着目して— 6. 大学教員の授業観に関する研究—教職科目の授業分析とインタビュー分析を通じて— 7. 道徳授業の難点を大学における授業でどのように考えるか 8. 新幼稚園教育要領における「道徳性・規範意識」に関する考察 （著作） 1. 生き方を耕す小学校の道徳授業 （教育実践記録等） 1. 「教職」の社会的意義と「自己信頼」による「教育的相互尊重」 2. 教員の職務内容と「チーム学校」の関係に関する研究 3. 教育方法及び技術の歴史的展開と教育方法としてのアクティブラーニング 4. 年齢別保育指導案の作成と評価—「地藏鬼」を事例として— 5. 保育指導案の書き方と保育現場における評価 6. 日本における教育改革と教育制度としての幼児期の教育				
学会及び社会における活動等	教育哲学会、教育思想史学会、日本道徳教育学会、日本道徳教育方法学会、日本デュレイ学会、日本ペスタロッチー・フレーベル学会、イギリス理想主義学会、中国四国教育学会				

#### その他非常勤講師

近 勝彦 大阪市立大学大学院 教授 法学修士（広島大学）

西谷光正 現職なし 教育学修士（岡山大学大学院） 小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許（保健体育）、高等学校教諭一種免許（保健体育）

大羽敬子 現職なし 学士（広島大学教育学部教科教育学科音楽教育学専攻） 中学校教諭一級普通免許状（音楽）（昭五九中一普第九九二号） 高等学校教諭二級

普通免許（音楽）（昭五九高二普第一〇五〇号）

河原真理 現職なし 学士（武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻）

荒木淳子 現職なし 学士（武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻）

門田晶子 現職なし 学士（武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻）

三 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。

授業科目ごとの授業の方法及び内容は本学ウェブサイトのシラバス参照

(<http://www.owc.ac.jp/gakusylibus.html>)

2年間の授業計画

授 業 科 目	単 位			開 講 学 年		週 当 時 間 数			
	必修	選択	計	1年	2年	1年前	1年後	2年前	2年後
日本国憲法	2		2	2			2		
情報処理基礎		2	2	2		2			
情報処理演習	2	1	1	1			2		
文書処理演習(A)		1	1		1			2	
文書処理演習(B)		1	1		1				2
英語(A)		1	1	1		2			
英語(B)	1	1	1			2			
体育実技	1		1	1		2			
体育理論	1		1		1			1	
教育心理学	2	2	2	2		2			
発達心理学 I		2	2	2			2		
教師論		2	2	2			2		
教育原理	2		2	2		2			
教育制度論		2	2		2			2	
保育相談の基礎		2	2	2		2			
事前・事後指導		1	1		1		1	1	
幼稚園教育実習		4	4		4			(160)	
教職実践演習(幼稚園)		2	2		2				2
教育課程総論	2		2	2		2			
健康(保育内容)	2		2	2			2		
人間関係(保育内容)	2		2		2			2	
環境(保育内容)	2		2		2			2	
言葉(保育内容)	2		2	2			2		
表現 I (A)(保育内容)	1		1	1		2			
表現 I (B)(保育内容)	1		1	1			2		
表現 II (A)(保育内容)	1		1	1			2		
表現 II (B)(保育内容)	1		1		1			2	
音楽 I (A)		1	1	1		2			
音楽 I (B)		1	1	1			2		
音楽 I (C)	1		1		1			2	
音楽 I (D)	1		1		1				2
音楽 II (A)	1		1	1			2		
音楽 II (B)		1	1		1			2	
体育(A)	1		1		1			2	
体育(B)	1		1		1				2
図画工作(図画A)	1		1	1		2			
図画工作(工作A)	1		1	1		2			
図画工作(図画B)		1	1	1			2		
図画工作(工作B)		1	1	1			2		
国語	2		2	2		2			
生活と科学		2	2		2				2

四 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること。(平成 29 年度)

卒業者数 (男・女)	7	71
幼稚園教諭二種免許状取得者数 (男・女)	6	68

五 卒業者の教員への就職の状況に関すること。(平成 29 年度)

教員就職者数 保育教諭 14 人 幼稚園教諭 10 人

六 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

平成 24 年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」(文部科学省)

本事業は、私立大学が建学の精神と特色を生かした人材育成機能を発揮し、及び大学間連携を進め、もって社会の期待に十分に答える教育研究を強化し、進展させ、私立大学等の教育改革のこれまで以上の新たな展開を図るため、基盤となる教育研究設備を整備することを目的としている。

平成 24 年度の採択を受けて「模擬保育室・保育相談実践室を利用した保育実感力養成プログラム」を平成 25 年度から開始した。

このプログラムは本学が今後も 2 年間という短期の保育者養成カリキュラムの中で、「子どもの未来を育む心豊かな保育者」「現場に即応する保育者」を養成していく仕組み全体を充実・改善させるために、カーペット、畳、乳幼児用の机・椅子、棚、絵本本棚、ままごとセット、雛人形・五月人形など年中行事の飾り、箱庭療法セットといった実際の保育施設さながらの設備・備品を施した模擬保育室・保育相談実践室を整備し教育実践に利用する取組である。

利用方法は日常の講義・演習・実習・実技・卒業研究など授業の中で模擬保育室を積極的に利用する。

教育成果は、本学の教育方針における「現場に即応する保育者」になる専門的学習成果と汎用的学習成果の獲得に対して、学習内容が抽象的になりがちな講義系科目においても、模擬保育室を利用して実際同様の保育空間のなかで実物に手をふれながら具体的イメージをもって学習内容を確認し、より確かな知識・技術を獲得し、より豊かな保育者としての精神を形成することができることである。もちろん演習・実技・実習科目においても大きな学習成果が期待できることは言うまでもない。模擬保育室を使った授業によって保育実践力のひとつである保育実感力が形成され、本学の他の取組で育成してきた人間関係力や人命尊重マインドに加えて保育者に必須な資質がもう一つ備わり、より「現場に即応した保育者」に近づく。

保育実感力を備えた保育者とは、実際に具体的なイメージを思い浮かべながら保育空間を構成し、子どもの健康安全の維持向上に細心の注意で配慮しつつ、子どもたちが心身の調和のとれた成長ができるのに適切な保育室を設えることのできる保育実践者である。

目標達成の成果の検証・改善の仕組みとしては、期待される学習成果である「学習内容が授業の中で具体的イメージをもって、より確かな専門的知識・技術の定着が保育実感力をもって形成されたかどうか」について、本学が日頃から教育目標・学習成果の達成度を評価するシステムとして採用している「学習成果を焦点にした質保証のための査定サイクル」にのせて向上・充実を図る。